

はるの

もう、

(もう、いないんだね)
ふと思った

(もう、いないのだ)
冬の陽の当たる絨毯を見ながら
ふと、思った

窓の外では
冷たい風にシクラメンの花が揺れている
コトリともしない部屋で

ソファーを見て
ダイニングテーブルを見て
光の中に映し出された
揺れている洗濯物の影を見ながら思う

(そうだね、もう、いないのだ)
一月の朝は何も言わない